

今月の

ピッコ アッコ

生薬

1月

モクツウ

木通

おしっこを出をよくしてくれます。
ストレス性の胃痛にも効くとか...



用途 (どんな時に使う)

利尿、消炎

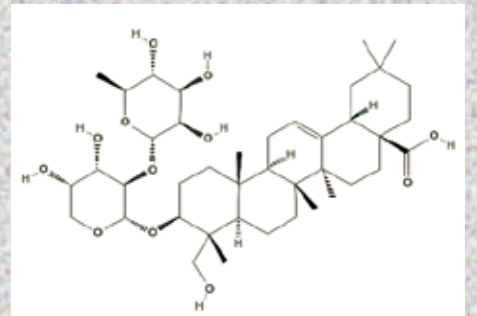
どんな植物

日本各地に自生しているアケビのつるです。日本には、アケビは、ミツバアケビ、アケビ、ゴヨウアケビの3種が育っています。落葉性つる性の低い木で、秋に、丸くて長い実をつけます。アケビの実は薄い赤紫色をして、割れていることも多いです。実が甘いので、アケビが育っているところでは、子どもも大人も実を取って食べたりもします。実が開いた→あいた実→あけみ→アケビ、となったとか、人があくびをしているのに似ているところからアケビになった、という名前の由来があります。アケビは甘くて美味しいですが、そのつる、モクツウは、苦味やえぐみがあります。

日本各地で見られる植物ですが、アケビの収穫量は、山形県が全体の9割を占めています。割れた実は、1日しか日持ちがしないそうなので、早めに食べたいですね。

化学成分：アケボサイド (アケボシド) (akeboside)

アケボサイドは、サポニン的一种です。サポニンとは、水に溶けると、石けんのように水を泡立たせる働きを持つ物質です。そこからシャボンの語源にもなっています。このアケボサイドの含まれたエキスに、おしっこを出しやすくする作用が見られます。



アケボサイドの一種 (C₄₁H₆₆O₁₂)

来月は、No.20 の牛蒡子 (ゴボウシ) を取り上げます。

※実際の医薬品としての効能などについては、薬剤師や、医師にご相談ください。

展示番号

No.55

今月は、木通 (モクツウ) です。
タッチパネルモニターも
ご覧下さい。

使用部分 (つかうところ)

つる性のくき



輪切りのゴボウでは
ありません。

産地 (とれる所)

日本



東アジアが原産で、
今は日本各地で見られます。